

# 教育委員会会議録（6月定例会）

## 日 時

平成26年6月27日（金）  
午後3時00分から午後4時15分まで

## 場 所

教育プラザ ギャラリーB室

## 出席委員

委員長	花田 和郎
委員長職務代行者	上村 由美
委 員	森嶋 鎮一郎
委 員	伊藤 吾子
教育長	中山 俊恵

## 委員以外の出席者

教育部長	作間 忍
総務課長	窪田 康徳
総務課課長	川崎 浩行
学校施設課長	関根 博之
学務課長	大友 正徳
学務課課長	矢板 恭介
生涯学習課長	佐川 勝宣
スポーツ振興課長	住谷 玲
新体育館建設課長	千葉 忠好
指導課長	内山 信弘
郷土博物館課長	村田 和雄
記念図書館長(兼)視聴覚センター所長	鈴木 士郎
教育研究所長	大沢 靖司
宮田調理場長	齋藤 淳
総務課課長補佐(兼)庶務係長	中村 大介
総務課課長補佐(兼)計画財務係長	滑川 達也
総務課係長(企画員)	松永 朗
総務課主事	宇佐美 亮

## 議 事

### 1 報 告

報告第 6 号 教育委員会 5 月定例会の会議録について

### 2 議 案

議案第 3 0 号 日立市立小中学校学区審議会委員の委嘱について

議案第 3 1 号 日立市社会教育委員の委嘱について

### 3 その他

(1) 平成 2 6 年第 2 回市議会定例会について

(2) 行財政改革大綱（第 6 次計画）の推進状況について

(3) 平成 2 5 年度審議会等の開催状況について

(4) 第 5 7 回桐生市臨海子ども会について

(5) 学校プール開放事業について

(6) 中学生海外短期留学支援事業及び姉妹都市研修生派遣事業について

(7) 日立市郷土博物館再開記念特別展示「日本最古のカンブリア紀層と郷土ひたち」等の開催について

(8) その他

(9) 次回の教育委員会の日程について

# 会 議 の 概 要

## 1 開 会

午後3時00分

委 員 長

それでは、定刻となりましたので、只今から6月の教育委員会定例会を開催します。

今月の定例会の傍聴者は1名です。

## 2 報 告

報 告 第 6 号

教育委員会5月定例会の会議録について

委 員 長

報告第6号について、御意見を伺います。いかがでしょうか。

全 委 員

特にありません。

(本件については原案どおり承認されました。)

## 3 議 事

議 案 第 3 0 号

日立市立小中学校学区審議会委員の委嘱について

委 員 長

それでは次に議事に移ります。

議案第30号について、学務課長から説明をお願いします。

学 務 課 長

日立市立小中学校学区審議会委員に欠員が生じたので、新たに委員を任命するものです。

任期は、前任者の残任期間である平成26年6月27日から平成27年6月30日までです。

日立市学校長会、PTA役員、日立地区交通安全母の会連合会の改選及び市職員の人事異動に伴い、8名の委員を新たに任命します。

委 員

昨年度の開催状況はいかがでしたか。

学 務 課 長

昨年度は、諮問事項がなかったため、開催していませんが、今後、公共施設マネジメントの考え方がありますので、それに合わせて、必要に応じて開催していきたいと考えています。

**委員** 特に、学区審議会ですので、子どもたちの数が減っていくという状況を踏まえ、委員の方々から、先を見越した意見をもらう機会を設けていただければ有り難いと思います。

学区を再編成することは、色々と難しいとは思いますが、今、学区で一番課題となっていることは、小学校区とコミュニティエリアが一致しないことで、いくつかの校長先生方も悩まれているかと思えます。学区審議会では、このような課題については、審議事項に値するのですか。

**学務課長** 小学校区とコミュニティエリアが一致しないことについては、学校側に調査を実施しているところですので、調査結果を検証して、必要があれば開催していきたいと考えています。

(本件については原案どおり可決されました。)

### 議案第31号 日立市社会教育委員の委嘱について

**委員長** 次に、議案第31号について、生涯学習課長から説明をお願いします。

**生涯学習課長** 平成26年6月30日をもちまして、日立市社会教育委員の任期が満了となりますので、新たに委員を委嘱するものです。

任期は、平成26年7月1日から平成28年6月30日までです。

委員の総数は16名となりますが、3名の委員が新任になります。

また、委員の定数を減員した経緯については、今年の4月に「日立市社会教育委員に関する条例」の改正がありまして、従前は、21名でしたが、改正するうえでの方向性としまして、委員の定数を減らすことによって、会議における各委員の発言の時間を十分に確保し、委員相互による活発な議論による課題検討を行うという観点から、16名以内としました。

基本的な委員の委嘱の基準ですが、学校教育関係者、社会教育関係者、家庭教育関係者及び学識経験者から、それぞれ4名程度選出するというので、今回調整をさせていただきました。

(本件については原案どおり可決されました。)

## 4 その他

### (1) 平成26年第2回市議会定例会について

**委員長** 続きまして、その他に移らせていただきます。  
その他(1)について、教育部長から説明をお願いします。

**教育部長** 平成26年第2回市議会定例会について、報告します。  
今回は、2件の一般質問がありました。  
まず、民主クラブの塚田議員からの質問で、外国語教育についてです。

子どもたちにもっと英語を好きにさせるためのALTの活用について、ワールドキャラバンのような外国文化の学習について、また、日立市独自の英語教育について、3点の質問がありました。

本市においては、学習指導要領の改訂を、本市教育の充実の機会と捉え、平成21年度に市民委員にも加わっていただいて策定した、「世界にはばたく子ども育成プロジェクト」からの提言に基づき、各種施策を進めてきました。

主なものとしては、ALTの配置を、国の基準よりも前倒しして、小学1年生からとし、中学3年生までの9年間を見通した英語教育を推進してきました。

様々な調査結果から、小学生は、英語が好きで、不得意とは感じていない、中学生は、英語は好きだが、全国の傾向と同様に、他の教科に比べると自信がないという、日立の子どもたちの姿が浮かんできます。

このような実態を捉え、ALTと触れ合う時間を増やし、英語に対する自信を高めるとともに、他国の文化や習慣を知る機会として、ALTに自分の国のことや生活習慣についての話題を提供してもらったり、他教科の授業に参加してもらったりするなど、子どもたちがより英語に親しむために、ALTが活躍できるよう努めて参りますと、答弁しています。

2点目の質問に対しては、地域に住む外国人の方々や地元の関係団体の方々の協力を仰いで、多くの子どもたちが外国人と交流し、世界の広さを知るとともに、より身近に感じられる機会となるような方策を検討して参ります。

3点目は、現在、国が検討を進めている、グローバル化に対応した英語教育改革など、国の動向も注視しながら、日立市の子どもたちが、自国の文化の理解を基盤として、他国の文化を、理解、尊重し、国際社会に羽ばたいていけるよう、日立市独自の外国語教育を一層推進して参りますと、答弁しています。

続きまして、日本共産党小林議員からの教育委員会制度についての質問です。

質問の要旨としては、首長の考えが過度に教育へ反映されることが懸念されるが、執行部の見解を伺いたいということでした。

答弁要旨については、今回の制度改正の背景などを述べたうえで、次のように答弁しています。

教育の政治的中立性、継続性、安定性を確保するために、教育委員会は引き続き執行機関として位置付けられており、教科書の採択や学校における教育課程の編成などの職務権限は従来どおりとされていることから、首長の考えが過度に教育へ反映されることはないものと考えていますと述べたうえで、まとめとしまして、将来を担う子どもたちのために、市長と教育委員会がそれぞれの役割をしっかりと果たしながら、日立市の教育の振興に全力で取り組み、確かな学力と豊かな心、健やかな体を備えた子どもの育成に努めて参りたいと、答弁しています。

次に、教育福祉委員会では、議案審査としまして、運動公園新中央体育館建設事業における各種工事についての4本の議案について審査いただき、当該委員会及び本会議においても承認されたところ です。

- 委員 特に、外国語の教育については、大きな課題があるかと思ひます。
- 委員 日立市が直接雇用しているALTが他の授業に入ることは問題ないと思ひますが、インタラックから日立市へ派遣されているALTが他の授業に入ることは、法的な縛りはないのですか。
- 指導課長 契約時にカリキュラムを説明し、主となる教師のアシスタントとして、他の授業に計画的に入ることは可能です。
- 教育部長 例へば、家庭科の授業に入った場合には、教科そのものの指導ではなくて、そこの外国の文化を伝えてもらう活用を図っています。
- 委員 議員の方がおっしゃっている、英語の授業以外で子どもたちと交流する時間を増やすということは賛成なので、言葉だけではなくて、生かされた言葉が伝わっていく授業展開や英語活動が出来れば良いと思ひています。
- 委員 「外国に行くから」、「仕事で使うから」などの目標がないと、なかなか英語の勉強はしないと思ひます。今、習っている英語を使って、先々何かをしたいというモチベーションがないと、訳が分からず終わってしまう気がします。今後、英語が必要だと思えるモチベーションが必要であり、何で英語を習わなくてはいけないかが分からないと苦痛なだけなのかなと思ひます。

- 委員 指導課には、何か考案していただきたいと思います。
- 委員 ALTは、教員免許を持っている経験豊かな先生なのですか。
- 指導課長 派遣元のインタラックという会社で、事前研修をしてから派遣されている先生もいますし、もちろん教員の免許を持っている経験豊かな先生もいます。
- 教育部長 インタラックとの契約では、教員免許にはこだわりませんが、ALT一人で指導ができる力を持っている方を派遣してもらうことを条件にしています。  
また、市で雇用する場合には、姉妹都市の大学から来ていますので、力量を見極めながら、必要に応じて指導主事が指導するなど、ALTの指導力を高めています。
- 委員 ここ1、2年のALTの活動を見ていると、小学校の先生方も顔負けする位の授業をする方が増えています。それも、蓄積されたノウハウがあるからこそだと思いますが、ALTの指導力も向上してきたと感じています。いずれにしても、油断なく、現場の先生方と力を合わせて、ALTの力を活用して、レベルを上げていただきたいと思います。
- 教育長 最近、文部科学省が英語教育について新たに通知したり、県もそれを通して、小学校の英語教育にも力を入れたりしています。  
市内の中学校の英語教諭を中心として、英語の先生方で勉強会を自主的に行っています。英語の先生方自身は、勉強を深めていますが、先ほど委員がおっしゃったように、英語そのものを使ってどうするのかというと、むしろ英語の先生方よりも、そうではない方々に、英語はこのように扱われるということ、授業というよりも、何かの機会を捉えて、外部から呼んで話をしてもらっても良いのかと思いました。
- 委員 これは、英語だけではなくて、教科全てが日常生活にどう生かされているのか、生きた教科にしていかないと長持ちしないと思いますので、指導課には大変でもよろしくお願いします。

## (2) 行財政改革大綱（第6次計画）の推進状況について

- 委員長 それでは次に、その他(2)について、教育部長から説明をお願いします

いします。

**教 育 部 長** 今回の資料は、市全体の平成25年度1年間の総括的なものとなります。

「平成25年度における推進事項の取組状況」です。

6次計画の推進事項80件の推進状況ですが、「完了後継続」は1件、「完了」は前回から1件増えて2件、「取組中」は7件増えて67件、その結果「検討中」は8件減って10件となっています。

次に、教育委員会が所管する推進事項のうち、主な取組の概要について、順次説明します。

「学校教育における地域人材の活用」です。

平成25年度については、学校ニーズの把握等のための調査結果をもとに、地域人材の活用の拡大を図ってきました。

具体的な活用事例については、シビックセンターとの連携によるアート体験授業の支援や日立市地域医療協議会との連携による助産師、医師等による「いのちの教育」などを行ってきたところです。

「家庭教育事業の充実」です。

現在、非常勤の家庭教育サポーター4名を配置し、主に未就学児の親を対象として家庭教育の大切さを啓発する事業を展開していますが、子ども・子育て三法による事業再編に併せて、他部門で行っている事業との整理や住み分けを検討し、効果的な家庭教育の充実を図るものです。

平成25年度については、関係課所との連携強化を図るための調整や古河市の事例調査を行うとともに、子ども・子育て関連三法の枠組みの中での位置づけや今後の事業展開の方向性などについての検討を行いました。

「発達障害児等への特別支援体制の充実」です。

発達障害等で特別な支援を要する幼児・児童生徒に対する支援として、子ども発達相談センターを中心に、相談や支援に当たっていますが、更なる支援体制の充実に取り組むものです。

発達障害は、就学前のできるだけ早期に発見し、対処することが、その子どもの症状の軽減につながりますので、発見・相談窓口との連携強化、総合的な支援体制の整備を進めてまいりたいと考えています。

「学校への財務会計システムの導入」です。

これまでの学校での予算執行は、伝票作成と差引簿の管理をエクセルで行っていたことから、事務効率と予算執行管理等に課題がありました。

その改善を図るべく、学校事務の効率化と適正化を図るため、平成26年度から学校にも財務会計システムを導入することとし、



平成25年度に関係課調整及び学校事務への研修会等を進めてきました。

「有料広告事業の推進」です。

体育施設への有料広告導入により、施設の老朽化等による修繕に係る費用の財源確保を図るものです。

平成25年度を取組としては、他市類似施設の導入状況を調査し、広告事業の実施に向け広告掲載要領をまとめ、広告事業者の募集を行ったところでは、

広告事業者の応募がなかったため、改めて、新体育館の完成に合わせ実施したいと考えています。

「スポーツ広場等の在り方の検討」です。

市内のスポーツ広場、市民広場などについて、施設の設置目的や利用状況、競技団体や市民のニーズなどを踏まえて、管理経費の削減や統廃合など、今後の在り方を検討するものです。

平成25年度を取組としては、利用状況や管理経費を調査し、施設の効率的かつ効果的な管理運営方法など、取組の方向性について検討したところでは、

「図書館の館外サービスの見直し」です。

現在、図書館で実施している移動図書館車の運行などの館外サービスを見直し、より効果的で、市民ニーズに対応した館外サービスの検討と導入を進めるものです。

平成25年度は、特徴のある館外サービスとして、図書の宅配サービスを実施している先進市への聞き取り調査を実施しましたが、手に取って本を選べないという理由で、身体の障害等により来館利用が困難な方が限定的に受けているサービスとなっていました。

今年度は、館外サービスの向上を目指し、交流センター図書室や施設文庫等の有効活用方策、ブックステーション設置などについて、関係課と連携して検討します。

「視聴覚センターの機能向上」です。

視聴覚センターでは、上映会、イベント、研修会等の効果的な実施、教材等の効果的整備、また、映像作品等の発表の機会と場の提供など、機能向上を図るものです。

シビックセンターへの移転後3年を経過し、上映会「ひたちシネマ」が定着してきており、平成25年度は、上映会鑑賞者数13,427人と年間目標値の110%を達成しました。

シビックセンター及び関係機関との協働により、パブリックビューイングやイベント連動企画等の新たな試みを行ない、引き続き、利用者増に向け取り組んでいきます。

「学校施設の耐震化推進」です。

改築対象を除く校舎の耐震化につきましては、小・中・特別支援

学校25校を対象とし、平成26年度末までの完了を目途に耐震補強を進めています。

平成25年度は、このうち11校の耐震補強、さらには、助川中学校と水木小学校校舎の大規模改造及び改築事業が完了し、学校施設の耐震化率は約74%に向上しました。

「出資法人等の経営健全化促進」です。

教育委員会が所管するのは、公益財団法人日立市体育協会です。

平成25年度の取組としては、問題意識の共有及び経営上・施設管理運営上の課題の抽出を行うとともに、経費削減や自主財源の確保などの観点から、施設運営上の諸課題や事業の在り方などの検証を進めたところです。

今年度は、より効率的な施設運営やスポーツ振興事業、市民サービスの向上を図るため、具体的な方策について検討を進めていきたいと考えています。

「学校給食共同調理場の運営体制の見直し」です。

学校給食共同調理場の運営体制、職員の配置体制等について、調理業務を委託している先進市の状況を視察するなど、調査・検討を進めてきました。

「教員研修事業の見直し」です。

教員一人一人の資質向上のために行っている教員研修事業を再構築する取組です。

研修内容や日程等を精査することにより、参加しやすい研修を企画しました。

また、教職員がより参加しやすいように、土日や、退勤後の研修も実施しています。

さらに、ライフステージや職層に応じた研修コースの開設などの検討もしていきます。

**委員** 学校関係職員や学校経費が減らされていないことは有難いことです。

また、地域人材の活用という意味で、アーティストや医師など様々な方に参加してもらっていることは有難いことなので、それを継続して実施してもらいたいと思います。

**委員** 「家庭教育事業の充実」が、なぜ、行財政改革なのか、具体性に欠けているのではないのでしょうか。

**生涯学習課長** 「家庭教育事業の充実」というのは、既存事業の見直しという観点から行財政改革の推進事項に位置付けられています。

具体的には、来年度、子ども・子育て関連3法の見直しがありまして、その法律との整合性を図るという観点と、現在、生涯学習課

で推進している未就学児、主に0歳から3歳までのお子さんを持つ親に対する家庭教育について、未就学児だけではなく、就学している小・中学生を持つ親に対する家庭教育も大切であるという観点から、対象者を広げた施策が具体的にどのようなものがあるのかということを検討するものです。

**委員** 家庭教育というのは、何か目に見えるように実施していかないと、なかなか変わらないと思います。家庭教育が充実していないと、学校で頑張っても、どうしようもないこともありますので、親に対しての家庭教育の充実が図れるように検討してもらいたいと思います。

**委員** 「出資法人等の経営健全化促進」の中に、日立市体育協会がありますが、平成25年度の取組として、経費削減や自主財源の確保などの観点から、施設運営上の諸課題や事業の在り方などの検証を進めたとありますが、これは、将来的には受益者負担にする方向に進めるための検証を行ったのですか。

**スポーツ振興課長** 受益者負担という観点よりは、体育協会を運営している中で、例えば、事務処理上無駄な部分があるとか、人材育成の充実が大切であるとか、施設の管理運営方法で市民サービスを向上していくなどを主眼としての検証となります。体育協会が受益者負担としているものとして、スポーツクラブでの色々な健康体操の定期利用料があります。それ以外は、市民から料金はいただいていません。施設利用料についても、現在は、全て市に入ってきて、市が指定管理料として体育協会にお支払いするという形になっています。

ただし、「利用料金制度」というシステムがありまして、体育協会が実際に利用料を収入として得て、事業展開していくという大きな考え方もありますので、将来的な利用料金制度の導入についても、併せて検討しているという状況です。

**委員** 「学校施設の耐震化促進」について、平成25年度末で耐震化率は、約74%ということですが、平成26年度末ではどの位になるのでしょうか。

**学校施設課長** 平成26年度末では、約88%を予定しています。25校を対象に耐震補強を進めていて、昨年度には11校完了し、今年度は残り14校を完了させるということです。

**委員** 他の市町村と競うわけではないのですが、将来的には100%にするのですか。

**学校施設課長**

もちろん、100%が目標です。

しかしながら、耐震補強を計画していた学校の耐震化が完了した後は、改築による耐震化を図る学校の工事を進めていく計画となっていますので、進捗状況は、昨年度と比較しますとゆっくりとなっている状況です。

**委員**

「学校教育における地域人材の活用」についてですが、地域の人材を活用して、学校の先生方は楽をするのではないかと、議会や市民の方々に受け取られるのは心外です。

地域には色々な方がいて、子どもたちに将来の生き方を教えていくということが、日立の学校教育の合言葉である「いいとこ発見夢づくり」ですので、それを達成するには、地域人材の活用が最適であるという目標を誤らないようにしていただきたいと思います。

**教育部長**

先ほどの委員からの「学校関係職員は減らされていない」という意見に対して、説明させていただきます。

経費削減目標額の状況ですが、平成25年度の成果額は、247,692千円、そのうち、職員定員管理の適正化によるものが、158,100千円でした。

市全体では、これだけの人件費が減ったわけですが、そのうち、教育委員会の9人が含まれています。それは、教員というわけではなく、例えば、調理場の職員が定年退職し、その補充として非常勤職員を採用するなどにより、正規職員が減員されています。

**教育長**

先ほどの「家庭教育事業の充実」についてですが、補足説明をします。

日立市では、家庭教育事業を推進するために、家庭教育サポーターを採用しています。

幼稚園児も保育園児も全員小学校に入学するわけですが、その中で、家庭教育がとても大事だという認識があるということと、色々な悩みを抱えている、幼稚園や保育園に入園する前までの子どもを持つ親に対して、もう少し応援する必要があるのではないかとことから、採用した経緯があります。

また、保健福祉部などでは、子育て支援として、親子交流の広場などを行っているわけですが、それとは違った視点で、何かを教え込むということではありませんが、教育委員会として取り組む必要があるのではないかとということもあり、家庭教育サポーターを採用し、親子の交流会や講座などの企画を行っています。

現在は、サポーターによりそれなりの成果も上がっていますし、色々な所で活動をしています。

しかし、来年度、新しい子育て支援が始まるということで、厚生労働省と文部科学省が幼稚園、保育園について、完全に一本化するわけではありませんが、今、あらゆる所で子育て支援や家庭教育事業がたくさん行われている中で、例えば講演会を同じ様な時期に同じ様な内容で開催しているということもありますので、もう少し内容を整理したうえで、今まで通り別々で良いのか、それとも、もう少し協力して一つにするのかということについて、身近なところから見直しを行っていきたいと思います。

また、これまでは、就学前のお子さんたちの家庭を中心的に支援してきましたが、今は、就学後の家庭に対する支援や働き掛けをしていくことも求められていますので、教育委員会としても問題意識を持っています。

### (3) 平成25年度審議会等の開催状況について

**委員長** それでは次に、その他(3)について、総務課長から説明をお願いします。

**総務課長** 教育委員会で設置している9つの審議会、協議会等について、平成25年度の開催状況を報告します。

日立市奨学生選考委員会は、新たに貸付を行う奨学生の選考を行う機関です。昨年度の開催は1回で、平成26年度日立市奨学生として、高校奨学生1人と大学等奨学生16人の選考について、審議しました。

日立市立小中学校学区審議会は、日立市立小中学校の学区に関する事項を審議する機関です。昨年度は、諮問事項がなかったため未開催でした。

日立市心身障害児就学指導委員会は、心身障害児の障害に応じた適正な就学指導の円滑な運営を図る機関です。昨年度の開催は6回で、小学校入学予定のうち障害があると思われる者の就学先や、小・中学校に在籍している児童生徒の教育措置の変更等について、延べ393人の審議を行いました。

日立市社会教育委員会議は、社会教育全般に関し、教育委員会が諮問する機関です。昨年度の開催は4回で、社会教育のあり方に関する提言の内容について協議し、本年4月17日に提言書が提出されました。

日立市文化財保護審議会は、文化財の保存及び活用に関する重要事項について、調査審議する機関です。昨年度の開催は1回で、文化財保護事業や、市民文化遺産選定活用会議、長者山遺跡発掘調査事業について、審議しました。

日上市郷土博物館協議会は、博物館の運営に関し館長が諮問するとともに、館長に対して意見を述べる機関です。昨年度の開催は1回で、平成25年度事業や、郷土博物館大規模改造事業の案について、協議しました。

日上市立図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応じるとともに、図書館の行う図書館奉仕について、館長に対して意見を述べる機関です。昨年度の開催は1回で、平成24年度の業務報告、平成25年度の事業計画の進捗状況、平成26年度の事業計画案、多賀図書館の耐震診断の結果等について、協議報告しました。

日上市視聴覚センター運営委員会は、視聴覚センターの運営に関し、教育委員会が諮問する機関です。昨年度の開催は2回で、平成25年度の事業報告や、平成26年度の事業計画案について、協議しました。

日上市学校給食共同調理場運営審議会は、共同調理場の運営に関し、教育委員会が諮問する機関です。昨年度は、諮問事項がなかったため未開催でした。

#### (4) 第57回桐生市臨海子ども会について

**委員長** それでは次に、その他(4)について、生涯学習課長から説明をお願いします。

**生涯学習課長** 第57回桐生市臨海子ども会について、説明します。

臨海子ども会は、子ども達に海洋に親しむ機会を与えるとともに、団体行動を通して生活指導を行い、子どもの健康増進及び健全な子ども会の発展に寄与することを目的に、桐生市、桐生市教育委員会、桐生市子ども会育成団体連絡協議会が主催し実施するものです。

開催場所は、河原子海水浴場で、開設時期は、平成26年7月25日、金曜日から7月29日、火曜日までの5日間、2団編成で2泊3日行います。

参加人数は、1団が小中学生98人を含む167人、2団が小中学生130人を含む208人となります。

日上市の歓迎行事として、歓迎式典、キャンプファイアー等を実施し、交流を図ります。

**委員** 津波を想定した避難訓練も実施するようですが、いつ津波が来るか分からないので、しっかり対応していただければと思います。

## (5) 学校プール開放事業について

委員 長 それでは次に、その他(5)について、スポーツ振興課長から説明をお願いします。

ス ポ ー ツ 学校プール開放事業について、説明します。

振 興 課 長 この事業は、東日本大震災により被災したかねさわ市民プールを廃止したことに伴い、平成24年度から、水に親しむ機会を提供するため、小学生を対象に学校プールを開放しているものです。

開放する学校は、塙山小学校、河原子小学校、大沼小学校の3校です。昨年度まで開放していた久慈小学校、大みか小学校については、今年の夏に久慈サンピア日立プールが再開されますので、開放はしないこととします。

なお、塙山小学校については、地域の総合型スポーツクラブの御協力をいただき、他の学校よりも開放時期、開放時間を長く設定しています。

対象は、市内小学校1年生から6年生までで、多賀地区の小学校に対してチラシにより周知します。

委 員 プールがない小学校はありますか。

指 導 課 長 小学校は、山部小学校の1校です。  
中学校は、平沢、大久保、河原子、久慈、十王の5校です。

委 員 それぞれの小学校でも、子ども会に対してプールを貸し出していると思いますが、それに加えて今回の事業を行っているということですね。

指 導 課 長 はい。

委 員 事故がないように、実施していただければと思います。

## (6) 中学生海外短期留学支援事業及び姉妹都市研修生派遣事業について

委 員 長 それでは次に、その他(6)について、指導課長から説明をお願いします。

指 導 課 長 中学生海外短期留学支援事業及び姉妹都市研修生派遣事業について、説明します。

これらの事業は、本市英語教育を推進するための取組のひとつです。

まず、中学生海外短期留学支援事業についてです。

この事業は、日立市在住の中学生が、姉妹都市であるニュージーランドのタウランガ市に留学することを支援するもので、事前の研修や、現地の学校の授業料の支援を行っています。

今年度で6回目となります。

今年は、留学の希望があった、1年生3名、2年生7名、3年生1名の計11名が参加します。

留学先の学校としては、女子5名がタウランガインターミディエイトスクール、男子6名がタウランガボーイズカレッジとなります。

留学期間である平成26年7月17日から8月30日までの45日間に、現地校での短期留学や、ホームステイ、市長表敬訪問などを行います。

次に、姉妹都市研修生派遣事業についてです。

この事業は、アメリカのバーミングハム市に、市内の各中学校2年生から代表1名ずつ、計15名を派遣する事業です。

国際理解を深めるとともに、学習に対する動機付けを行うことが主な目的ですが、今回は、東日本大震災の際にバーミングハム市から頂いた災害見舞い等に対し、日立市の児童生徒を代表し、謝意を伝える機会も兼ねています。また、帰国後の校内報告会の実施等により、他の生徒の国際理解に資することとしています。

派遣期間は、平成26年8月22日から28日までの7日間で、バーミングハム市議会訪問、ホームステイ、現地中学校訪問、施設見学などを行います。

**委 員**      バーミングハム市への派遣は、昨年まで実施していましたか。

**指 導 課 長**      姉妹都市研修生派遣事業は、昭和61年から実施していますが、バーミングハム市とタウランガ市に交互に派遣してきました。

これまで、バーミングハム市には12回、タウランガ市には11回派遣しています。

平成21年度からは、未来の科学者派遣事業として実施しましたが、平成23年度までの3年間のうち、インフルエンザの流行や東日本大震災の影響により、実際に派遣したのは22年度の1回です。

平成24年度以降は実施していませんでしたが、今回、3年ぶりに実施することとしました。

**委 員**      今後も継続していくのですか。

**指 導 課 長**      今後も継続するかは、子どもたちの英語力アップのために、どう



いう施策が必要かを考えながら、実施の方法も含め、検討していきます。

**委 員** 中学生海外短期留学支援事業の参加者が11名ということですが、競争率は高かったのですか。

**指 導 課 長** 希望者が11名です。

**委 員** 英語の学力という面から見ると、英語圏に行って、実際に英語での生活をしてるのが一番だと思います。

姉妹都市研修生派遣事業の参加者が、各中学校1名ずつというのは、あまりにも少ないのではないかと思います。あくまで希望ですが、各クラス1名くらいは派遣してほしいですね。

英語は日常語ですし、やっぱり実際に海外に行ってみないとわからないです。

ちなみに、中学生海外短期留学支援事業の個人負担はどのくらいですか。

**指 導 課 長** 支援されるのは、授業料の19万程度ですので、個人負担としては、1人当たり60万程度となります。

**委 員** そうすると、なかなか希望するのも難しいかもしれないですね。また、中学校は部活動もありますし、あまりにも長期間留学するのは抵抗があるのかもしれませんが。

それであれば、海外短期留学にかかる費用を姉妹都市派遣事業に回して、1学級1名ぐらいを参加させた方がいいのではないかと思います。

できれば、修学旅行も海外にするくらいがいいという感じもします。

一つの意見として聞いていただき、長い目で見えて検討していただければありがたいと思います。

#### (7) 日立市郷土博物館再開記念特別展示「日本最古のカンブリア紀層と郷土ひたち」等の開催について

**委 員 長** それでは次に、その他(7)について、博物館課長から説明をお願いします。

**博 物 館 課 長** 郷土博物館の各種イベント等について説明します。  
まず、日立市郷土博物館再開記念特別展示「日本最古のカンブリ

ア紀層と郷土ひたち」についてです。

茨城県北には日本最古のカンブリア紀層がありまして、これらは日本で唯一地表に出ているカンブリア紀の地層です。

本展では、日立市のカンブリア紀を含む県北の地層、岩石、鉱石、化石などを紹介することにより、5億年の地球の歴史を感じる機会となることを目指しています。

2階の特別展示室において、7月5日から8月31日まで開催しています。

この展示会は、茨城県自然博物館との共催で行います。

また、関連行事としまして、博物館や日立シビックセンターで、講話や小中学生が参加できる参加型のイベントなどを実施します。

次に、「博物館失踪事件－消えた学芸員をさがせー」と、「よるのはくぶつかん」についてです。

この2つのイベントは、特別展示の期間中に、常設展も併せて見ていただき、興味を持っていただけるよう、企画するものです。

「博物館失踪事件」は、7月26日から8月31日まで開催します。

内容としては、参加者が受付で問題用紙を受け取り、館内を巡りながら謎を解いていくものです。クイズラリー形式で、学芸員が失踪したという物語に沿って謎解きを進行していきます。問題を全て解くと、学芸員が失踪した理由が分かるようになっています。

問題は、大人向けと子ども向けを用意しまして、知的好奇心が刺激され、謎解きの達成感が得られるようなものを作成したいと考えています。

次に「よるのはくぶつかん」は、今年で3回目の開催になりまして、照明を落とした常設展示室を、ハンドライトを持って巡っていただくものです。照明を落とすと、展示室がお化け屋敷のような雰囲気となりまして、また、これまでの参加者からは、通常は通り過ぎてしまうような展示物もじっくり見る事ができた、というような感想もいただいています。

開催時期は、8月6日と7日の午後6時から9時までです。

委員 全国的にも、これだけのイベントに全て無料で参加できるようなところは、なかなかないのではないのでしょうか。  
ぜひ、皆さんに参加していただければと思います。

## (8) その他

委員長 それでは、その他で、ほかにある方はいますか。

ス ポ ー ツ 都市対抗野球大会の結果を報告します。  
振 興 課 長 6月4日から、北関東2次予選が開催されましたが、日立市代表の日立製作所は、代表決定リーグ戦で1勝2敗となり、東京ドームで開催される本大会への出場はなりませんでした。  
本大会には、第1代表としてオール足利クラブ、第2代表として富士重工業が出場することになります。

#### (9) 次回の教育委員会の日程について

委 員 長 それでは、次回の教育委員会の日程について、総務課長からお願いいたします。

総 務 課 長 平成26年7月25日、金曜日に、日立市教育プラザで午後3時から開会予定です。

5 閉 会 午後4時15分

委 員 長 それでは、以上をもちまして、教育委員会6月定例会を終了いたします。